

ラファに手を出すな！ ガザ即時恒久停戦を！ もう！子ども・市民を殺さないで！

抗議FAX
集めています！

イスラエルガザ侵攻から7か月



支援団体の食糧の支給に並び子どもたち



ラファ5/5攻撃があった方角を見る子ども

(朝日新聞より)



パレスチナ自治区
ガザの被害状況
23年10月の戦闘開始以降。
ガザ保健省や国連機関のデータから

死者	3万4千人以上 うち子どもが 1万3千人以上
稼働している病院	36のうち 4分の1以下
経済的な損失	約69億ドル 約1兆610億円
再建には最速でも2040年まで かかる見通し	

衛星データから分析した
損害を受けたと見られる
地点 (■)
データは24年3月。米オレゴン州立大の

日本政府も
やっと人道的
即時停戦を
表明。
政府は、武器
輸出では
なく
即時停戦に
大いに声を
あげべき
です。



ラファ5/1空爆で破壊された建物の前を
あらく子ども

子どもたちの
目はうつろに。
彼らの瞳が私
たちに訴えて
います。「今
すぐ虐殺やめ
させて!」と。

即時停戦の声は全世界で広がる！今、ともに声をあげましょう！



パレスチナの子
どもたちが「応援
ありがとう」と返
信。



アメリカコロンビア大学をはじめ全米140大学で
「ガザ侵攻即時停戦、イスラエル軍需企業への投資
を大学は止めろ!」との明快なスローガンで、多様
な方法での抗議活動が展開されています。当局の抗議
つぶしにもかかわらずこの動きは全世界の若者に
広がっています。

声を
出せば
変えら
れる

ブラウン大学はじめ、今後投資について
話し合いの場を持つことで事態が進行して
いる大学も複数。その中でバイデン大統領
は、「弾薬武器供与中止」とイスラエルに
提案せざるを得なくなっています。

戦場にはさせない！1800人(沖縄名護4/14)



オール沖縄の「民意・自治・尊厳を守り
抜く県民大集会」に玉城デニー知事
(中央)も駆けつけ、
「新基地は造らせな
い」と心一つに

4・27もうだまっられへん！行動
に参加！「子どもを殺すな!」と声を
あげました。

